

令和5年度 第1回在宅医療・介護関係者研修会について(案)

- 1 目的:～切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築～
地域の医療・介護関係者の協力を得て、グループワーク等を通じ、共通理解と情報共有に努め、多職種連携を推進するために研修会を実施する。
- 2 日時:令和5年7月26日(水) 午後7時～9時
- 3 場所:久喜市総合文化会館 広域文化展示室
- 4 定員:80名程度(予定)
- 5 対象者:医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員、訪問介護員、保健所職員、在宅医療サポートセンター看護師、地域包括支援センター職員、病院相談員等
- 6 内容:
 - 第1部 「入退院支援ルール」について(20分)
講師:南埼玉郡市医師会在宅医療サポートセンター
事務局長 岩楯 信司 氏
 - 第2部 「最期まで自分らしく暮らし続けるための
人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を始めよう」
～さあ、始めよう!人生会議～(60分)
講師:新井病院 院長 関谷 栄 先生
 - 第3部 グループワーク(20分) 発表(15分)
テーマ1「入退院支援ルールを見て、専門職としてできることは何か。」(仮)
テーマ2「人生会議を聞いて、より多くの人に広めるためには、どのような方法があるのか、考えてみよう!」(仮)
総合司会: 新井病院 院長 関谷 栄 先生
※ワークについて、
テーマ1は奇数グループ、テーマ2は偶数グループで話し合い
- 7 グループワーク:
班分けについては1グループ10人までとし、10グループの班に分ける。
各グループに多職種が配置されるよう、以下のように参加者人数を事業所ごとに割り振りする。 ※FAX による申込とする。

	医師	歯科 医師	薬 剤 師	訪 問 看 護	居 宅	訪 問 介 護	サ ポ セ ン	保 健 所	包 括	病 院 相 談 員
事 業 所 数			40		30	22	1	1	5	10
参 加 人 数	10	10	16	6	30	6	0	1	10	3

タイムスケジュール(案)

時間	進行状況
18:30	受付
19:00	開会
19:01	挨拶
19:05 (20分)	第1部 「入退院支援ルールについて」 質疑応答
19:25 (60分)	第2部 「最期まで自分らしく暮らし続けるための人生会議 (ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を始めよう！」 ～さあ、始めよう！人生会議～ 質疑応答
20:25 (20分)	第2部 グループワーク テーマごとにグループワークを行います。 まず、司会、書記、発表者を決めてください。 一言ずつ意見を言ってください。ほめてください。 ●テーマ1(奇数グループ) 「入退院支援ルールをみて、専門職としてできることは何か？」 ・周知等 ●テーマ2(偶数グループ) 「人生会議を聞いて、より多くの人に広めるためにはどのような方法があるか、考えてみよう！」
20:45 (15分)	発表 できるだけ 10グループ 全員に一言ずつ
21:00	アンケート記入 閉会

研修会の配布資料(案)

- ① 南埼玉郡市入退院支援ルール(パンフレット)
- ② さあ、始めよう！人生会議(埼玉県チラシ)
- ③ 意思表示ノート (埼玉県医師会パンフレット)
- ④ エンディングノート (久喜市パンフレット)
- ⑤ 久喜市地域包括支援センターチラシ